



線状降水帯の恐怖

本日に強い降りて怖かったです。駅周辺も大変で、JRが止まり、市内に足止めの方も出ました。掛川はギリギリ大きな被害になりませんでした。磐田などを見ても、命を守る防災が最優先最重要課題であることを実感しました。

補聴器購入助成開始

待たれていた補聴器購入助成制度が開始です。



申請書はホームページからダウンロードできるほか、ふくしあや市役所長寿推進課などにあります。申請書類がほしい方は、一報下さればお届けします。

申請書を持って耳鼻科を受診し、市役所に書類提出するところから始まります。必ず購入前に申請下さい。

所得制限も非常に緩く、年金世代の方はほぼ皆さん利用できます。(広報6月号P8参照)



6月定例会が始まります(6/8~7/4)

コロナの制約も終わり、傍聴規定ももとに戻ります。託児(1週間前までに申込)も再開です。

ぜひ議会にお越し下さい。

議会予算決算常任委員会の市内視察(その2)

◎文教厚生委員会所管(5/29)

西中通級教室

特別支援対象の中学生通級教室ですが、保護者が送り迎えすることが前提です。利用できない家庭がありそうだなと思いました。教育委員会としても、様々な学びの場を認めて支援してほしいなと思います。

西山口学童保育所

プレハブ2階建て。異年齢でなく1年2年3年と学年ごとクラス。管理のしやすさが優先される大規模な場で子どもは幸せなのかは私は疑問です。

森林果樹公園トリエ

障害者雇用の場となっています。採算を取り経営することと障害のある方が心地よく仕事ができることの兼ね合いは難しいはずです。民間任せにならない支援が必要だと思います。

きためばえ

東遠学園の4つめの通所施設になります。廃止になった農協の建物を使います。

放課後等デイサービスセンターはるかぜ

放課後、デイはほとんどが民間参入にまかされています。手厚い保育が必要な子が多い社会的な実態をお話ししました。社会福祉現場には公の役割の大切さを感じます。

ひきこもり支援センターきみいろ

これも民間企業への委託です。まだまだモデルの少ない事業で試行錯誤をされているのを感じました。きとうこども園 市内保育施設の

民営化・こども園化はこれで一段落。多くの公金を使いつつ、民間に保育・幼児教育は任されています。



◎環境産業委員会所管(5/30)

領家高橋橋梁耐震補強工事 鳥居橋災害復旧 原田ふくし館土砂災害復旧

今回の磐田の災害を見ても治水工事は待ったなし。速やかに手を打たないと次の災害を起こしてしまいます。市県国と管轄が違つと声がストレートに届かないもどかしさがあります。住民要望は管轄の違いは関係ありません。

細田六才線

狭くてできるだけ通らないようにしている道ですが、重要な生活道路で、渋滞も起こります。今ある道幅を広げるのは難しいのがよくわかる現場でした。松ヶ岡 改修の全体像が見えず、次々に工事が行なわれることが不安です。いくら使ってどこまで整備するのかを示してほしいです。

掛川駅周辺バリアフリー化 南

北通路部分が頓挫しています。自転車でも難渋する駅前です。車いすなどの方がどれだけ不便利か。JR北口からバス停までがバリアフリー化されます。

海岸防災林(大東温泉付近)

「防潮堤は大津波に5時間耐えられる設計。津波を跳ね返すのではなく高い所遠くへ逃げる猶予をつくるのです」わかっていませんでした...

市内各所を回りました。自分の所属の文教を含め、議員になって初めての場所も多く、現場を知らないダメだなと再認識しました。

命の砦裁判 生活保護の基準額減額は国の誤りと断罪(静岡地裁判決)

自民党が選挙公約に掲げた生活保護費減額を無理矢理に行なうために恣意的な統計を使った国。

掛川市も含め控訴するようですが、今まで出された21の判決の過半数で国と自治体は敗訴。

理不尽な基準切り下げがどれだけぎりぎりの生活をしている人を苦しめているか。心あるなら、いち早く減額の取り消しをするべきです。